

日本の山旅 2019年8月のお便り

★平野流山旅が目指すところ・これからの歩き方★

私がニュージーランドと日本で山旅ガイドを始めて35年。その長い年月の間、山旅のスタイルも大変変わってきました。平野ガイド日本の山旅は1984年にニュージーランドのハイキングツアーを立ち上げた翌年から、郵船トラ



ベル社の主催・屋久島から始まりました。当時はまだ日本の山旅ツアーが殆どなく、スイスアルプスハイキングで多くのリピーターを持つ同社主催の日本の山旅ツアーは毎回20名単位の大盛況、以後コースは徐々に増え、企画する山旅すべてに参加するグループも増えてきました。何しろその頃は平野ガイドが30歳台、お客さんも50歳台の健脚揃い、利尻山から屋久島まで、今では敬遠しがちな健脚コースも皆元気に歩いたものです。

●これからの山歩き、新たな歩き方のすすめ

あれから30年、当時のリピーターの皆さんの山歩きのスタイルは超ゆったり歩きに変わってきています。もうあの頃のように歩けなくなったから、もう山歩きは止めようというのではなく、その時々体力に応じた無理のない歩き方で山歩きを続けていく。かつて健脚だった頃、当たり前のように目指したピークにこだわることなく、以前の半分以下の行程で途中のブナ森でゆったりくつろいだり、花を愛でるのにたっぷり時間をつぶしたり、それなりに新鮮な楽しみ方ができる。私が最近提唱している<ゆったり歩き>は、そうした古からのリピーターの皆さんのために企画しているのです。以前の団体ツアーとは違う少人数での小回りの利く平野ツアーは、その時々に応じたベストコース、ゆとりのプランで平野ガイドならではの山旅をこれからもご案内していこうと思います。

こうした<ゆったり歩き>はまた、今なお現役バリバリで山歩きをしている人にもお勧めしたい歩き方です。これは「ブナ森歩きの素晴らしさを最大限に味わい、大自然と触れ合うための最良のスタイル」でもあります。百名山や有名な山を求め、自分が登った山の数を誇る時代はもう終わりにして、本来の自然にどっぷりと浸かり、大自然から感動と元気をもらえる<ゆったり歩き>こそ、今後一番必要かつ価値のある山歩きのスタイルであると、そろそろ気がついていいのではないのでしょうか。

●平野ガイド日本の山旅、もう一つの歩き方：平野流大自然ウォーク

日本でも、ニュージーランドでも誰でも歩ける一般コースに飽き足らぬ平野ガイドは、これまで無数の難コース、ブッシュウォークを開拓してきました。一般コースとは違うサブ・コースや、地図とコンパス、僅かなマーカー頼りのルートファインディングを要するルート、道なき道を歩く究極のブッシュウォークなどなど、何度も迷い失敗を重ねながらも大自然の神の声に助けられ、数多くのお気に入りのスポットを探してきました。そのような歩き方は本来、自分だけの楽しみ、あるいは修行の場として大切にしまっておきたいところです。細心の神経を集中して真剣勝負で歩かねばならないところに、人を案内するのは並大抵のことではありません。山旅ツアーで人を案内するには、一般コースを案内するのが一番無難で、そのようなガイドをするツアーなどまずありえないことでしょう。

しかし何でそこまでして平野ガイドは皆さんを案内したいかという、それはこれまで私が大自然ウォークを通じて得た感動を、より自然の素晴らしさを体験したい人々に伝えたいからに他なりません。ただし人を案内する場合、私がこれまで体験した究極のブッシュウォークは勿論のこと、修行のような難行を強いることは厳禁。レベルや希望、向き不向きによりコースを考えねばならないのは当然のことです。

また、これまで長年山歩きを続けてきた皆さんは、今後も自分では確かな一般コースのみ歩くことでしょう。おそらく今後何年経ても、私がようやくたどり着いた（まだまだ未完ですが）究極の山歩きの境地に

達することは不可能でしょうし、そうした穴場コースを歩く機会は決してないでしょう。平野ガイドと歩くからこそ、自分では絶対に体験できない本来の山歩きが出来るという訳です。もちろん、そんなコースでは時に道に迷うこともあります。そんな時も平野ガイドの経験と念力？によって最良の方向に進めるということ。こうした山歩きの体験を、素晴らしい大自然体験と捉えるか、又はそんな体験は真っ平御免というかは自分次第、私はそれをよしと思う人のみご案内します。

こうした平野ガイドのみ案内できるコースは、最近徐々に増えています。例えば、三陸・宮古の重茂半島にある<十二神の森>は6^号の林道も悪路の未舗装で、以前山旅便りに記載したように、今では平野ガイドのみ案内可能な大自然周遊ルートになっているところ。ここは体力・レベルによって健脚度2~4まで自在にコースを選択できる大自然ウォークの別天地となっています。また、7月便りで紹介した<真昼ブナ悠々の森>も大自然貫切りで歩けるブナ森歩きの新天地。その他、伊豆天城連山の西・天城猿山は、ガイドブックにも載っていない旧道を、僅かなマーカーとマップ・コンパス頼りの本格的な山歩きで、より上級向けの山歩きをしたい人にはうってつけのコース。これも何度か一人で歩き、レベルによって2通りの歩き方が出来るコースを完成させました。

このほか、御在所岳の西・三人山から東雨乞岳~七人山への健脚向け周遊ルートも、一回り楽な小回りルートを探り当て、より一般的な周遊コースを完成させました。この大周遊コースは、以前、新コースとしてグループを案内した際、大成功の手前で調子に乗る、また諸々の悪条件が重なり、とんでもない悪沢に迷い込み、大苦戦の末、奇跡的に遭難を免れ何とか脱出できたという苦いいきさつがあった所です。これはとにかくガイドの私の大失敗、ただただ山神様に感謝、大反省あるのみで、いかなるいいわけも通用するものではありません。ただひとつ思うこと。山旅ツアー中にガイドの判断ミスで、とんでもない困難な状況に陥ってしまった時には、リーダーであるガイドの力量に身を任せ、指示に従い、全員一丸となりその困難を乗り越えるほかはありません。これまでもまた今後の一生あり得ないほどの困難な山行の末、まさに神がかり的に助かったことに対して、「かけがいのない貴重な体験ができた」と神に感謝するか、又はとんでもない被害を被ってしまったと後悔するか、或いはその体験を今後の山歩き、人生にとってプラスに考えるか、大きなマイナスと考えるか、人それぞれというところですが…。(山旅便り2016年6月その2・山旅レポート参照)

ともあれ、私は今後またこの同じコースを案内する場合、以後は完璧にガイドできる自信はあり、健脚コース希望のグループがあればいつでも案内したいと思っています。また、もっと楽なコースをというのなら、三人山からの新コースもできたとし、10月の山旅よろご期待！

平野ガイドが提唱し続けている日本の山と自然の素晴らしさとは何か、以下、2006年の山旅パンフレットからの抜粋です。

◆日本の山と自然の素晴らしさを再認識しよう◆

……………全コース同行ガイド・平野洋一からのメッセージ……………

■日本の山旅の素晴らしさ再発見…日本の大自然は世界一

私がニュージーランドをベースにハイキングツアーを始めたのは1984年のこと、それ以来毎年約6ヶ月を現地でご過ごし、残りの半分を日本でという仕事・生活を続けてきました。しかしながら現地での諸事情と心境の変化により、2005年から現地での事務所・ツアー業務を止めて、最小限の体制で継続していくことになりました。詳細はさておき、この20年間のニュージーランド体験の最大の収穫は、日本の山の素晴らしさを再認識できたということです。日本という狭い国土の中に、北海道から九州までそれぞれ異なる山の自然があり、春の新緑から秋の紅葉まで変化に富んだ美しい自然の移ろいがあり、日本独自のブナ原生林や照葉樹林、高山植物、そして温泉と地域ごとの食文化など、世界でも第一級の山旅を楽しめる環境であること。これが20年間外から内から日本の山の自然を見続けてようやく開眼したといえる私の結論です。日本の山と自然は世界一であると。今後私はこの愛すべき日本の山旅を中心に活動を続けていくつもりです。日本ならではの山旅の素晴らしさを追求して、皆さんをご案内したいと思っています。

■日本のブナ原生林は世界一、日本ならではの山歩きとは？

日本ならではの山の自然を特色付けている最大の要素は、ブナ原生林にるといっても決して過言ではありません。トチやカツラ、ミズナラの混じるブナ原生林は日本独自のもので、落葉広葉樹であるが故に、その新緑・紅葉は世界に類を見ないほどの美しさです。例えば、ニュージーランドや南半球にあるブナは葉も小さく常緑であるため、日本のブナのようにはっきりとした新緑・紅葉が見られません。森全体が淡い緑に包まれるブナ林の新緑、そして様々な落葉樹も含めた色とりどりの紅葉風景は、いずれも日本ならではの美しさといえるでしょう。「水の神」とも呼ばれているブナはまた、水を蓄え自然を守る森の守り神であり、大自然の象徴でもあります。ブナがあるところに本当の自然があり、ブナが元気に育っている森には気のパワーが満ち溢れています。日本のブナは北海道の歌才の森を北限とし、鹿児島の高隈山を南限という範囲で広がっています。ブナの無い屋久島や南九州には、スダジイをはじめ日本ならではの美しい照葉樹林が、そして北海道にはミズナラがあり、それぞれブナ林に代わる原生林を形成しています。これまでの山歩きといえ



ば、まずはピークを目指すというのが第一の目的で、今でも百名山登山に見られるようなピークハントや花が目的という人が圧倒的に多いことは間違いありません。山の歩き方や目的は人それぞれで、私はこうした歩き方を決して否定するものではありません。頂上という一つの目標に向かって頑張り通すことも意義があるし、苦勞してたどり着いた頂上での爽快、達成感は何ものにも換えがたい喜びとなります。辛い登りの途中で出会う可憐な花々がいかに励みとなり、元気づけてくれるか。そうした要素も山歩きの大きな魅力であることは確かなことです。それはそれで良いことだと思いますが、それとは別に山を取り巻く原生林の価値というものを再認識するべきであると思います。これまでは、途中の樹林帯の登りといえ、あくまでも頂上を目指すための辛いアプローチという考えが圧倒的で、未だそうした考えの人が多いうです。しかし、山の自然にとって何よりも大切なものは、それを取り巻く豊かな原生林であることを再認識し、森を歩くこと自体に価値を見出すことは、山歩きの意義を倍増させる重要な考え方でもあると思います。このことに気づくと、いずれは山歩きの目的が逆転するほど、森歩きの魅力は奥深く価値あるものとなっていくはずで、平野流山歩きの原点はまさにここにあり、北海道を除くほとんどの山域でより原生に保たれた天然林を含んだコース選びをしています。目指す山は同じでも、コース巡りが一味違うのはそのためです。

■日本の山は神々の世界…山と森からパワーをもらう

古の昔から日本の山は神聖な場所として崇められていました。かつて役の行者や空海上人がその修行の場を山に求めたのも、また修験者が山で修行したのも、日本の山には何らかのパワーがあったからに他なりません。その名残として、日本の山にはあらゆるところに神社の奥宮や山神様が祀られています。もちろん今の時代に山を歩く私たちは、決して修行のために山を目指すわけではありません。山歩きの目的や楽しみ方は千差万別、人それぞれ自由な歩き方をすればよいのです。ただし、いずれの歩き方をするにせよ、山を歩く私たちは古来受け継がれてきた山に対する畏敬の念を決して忘れてはならないということです。大自然の山神様に守られた日本の山は、山自体にも人知を超えたパワーを秘めています。一つの山旅を終えた後は、確かに体の疲れはありますが、それ以上にこの上ない充実感に満たされるはずで、これは、山のいい空気の中で程よい運動をして体脂肪を燃焼させたからというだけでなく、何よりも山と森の持つ偉大なパワーを吸収したからにほかなりません。「山と森から元気をもらう」、「元気をもらうために山を歩く」、そんな発想があってもいいのではないのでしょうか。

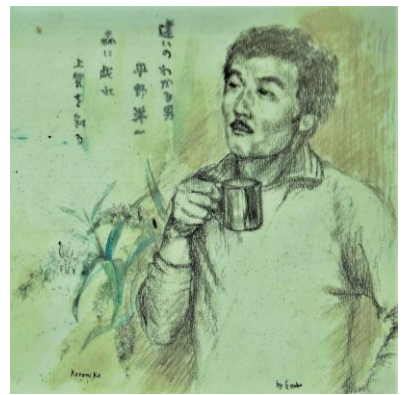


■平野流日本の山旅…一生続けられる山旅を

平野ガイドがご案内する日本の山旅は、こうした平野流の考え方をベースに企画されており、すべてのコースを平野自らガイドするのでその数も限られています。当然のことながら、日本中ありとあらゆる山旅を実施している

大手各社のツアーに対抗できるものではありません。また、少人数中心であり、宿や温泉にもこだわり、ゆとりを持った日程であるため、料金的にも他社ツアーに比べて割高なコースがほとんどです。それゆえ、平野コースに無い山や、より安く短期間で山旅をしたい人は、その都度最適なツアーを選んで歩いていただければと思います。そしてたまには平野と一緒に山を歩いて元気をもらいたいと思ったら、1年に1度か2度でも参加してみてください。現在、平野ツアーに参加されるほとんどの人はリピーターで、こうした平野流の山旅ツアーを理解し賛同する人々の集まりといっても良いでしょう。中には10年以上のリピーター夫婦、グループもいるし、1年に1回の楽しみとして参加される山の会グループもいるのは本当に嬉しい限りです。私はこうした皆さんが、平野と歩く山旅を人生のひとつの楽しみ、生き甲斐につなげていただければと思っています。私はまた、山歩きは一生続けられる最高の趣味であると思っています。現在ある数多くの健康スポーツの中で、山歩きは人間にとって最も自然に近い無理の無い運動であると思っています。

太古の昔から「歩く」ことは人間にとって最も基本かつ自然な運動であり、山を歩けるということは健康であることの一番の証でもあります。そのためには継続がなによりです。普段の生活でも歩くことを心がけ、できる限り頻繁に自分で歩ける近郊の山に出かけること。自分のレベルに応じたコースを自分なりのペースで歩くことを続けられれば、山歩きに年齢制限はありません。私たちにこの上ない元気のパワーを与えてくれる山という大自然とは一生付き合っていきたいものです。山から元気をもらう平野ツアーは、いかに長く山とかわかっていくか、そんなお手伝いを山旅人生の案内人としてお役に立てればと思います。



***** ▲ By: Etsuko Korumiko Staff

以上、30年以上前から平野ガイドが提唱し続けてきた日本の山旅への考え方、情熱は今なお変わりません。今後も平野流日本の山旅スタイルに賛同して、日本の山ならではの山歩きを続けていきたい人がいる限り、平野ガイドはますます精進を重ね、山歩きが皆さんの今後の人生の大きな生き甲斐となるよう全力でお手伝いさせていただきたいと思っています。

2019年8月5日 コロミコ・トレック 平野 洋一

◆9月の山旅：お勤めコース・三陸の山旅と津軽下北周遊の山旅！◆

暑い夏が終わり9月半ばになると快適な山旅の季節となります。夏の暑さで疲れ果てた心身を鍛え直し、10月からの東北・紅葉のブナの山旅に備えましょう。9月の山旅の山旅は三陸・平庭高原/十二神森と津軽下北の3コースに絞りました。いずれも小回りの利くノア号で林道ドライブも楽しい平野ガイドオリジナルの山旅です。まだ歩いたことのない人乞うご期待。

▼岩手北部・知られざるブナ原生林と三陸内部の山々を巡る▼

■遠島山と遠別岳・安家森、宇霊羅山

三陸の山旅その1…平庭高原の白樺林と新緑のブナ林

●9月26日(木)発 3日間 ★健脚度：3

●現地参加料金：¥62,000(盛岡駅集合・解散)

☞北上高地北部の山を巡る三陸北部周遊

の山旅。岩泉のシンボル・宇霊羅山から始まり、遠島山、安家森、平庭高原などを巡ります。巨木のある素晴らしいブナ林と足に優しい自然道の遠島山は、往復10キロの林道歩きを4駆のノア号でカット、無駄のないゆったり歩きが実現しました。日本シラカバ林が美しいといわれる平庭高原・平庭山荘2連泊、さらに充実内容のツアーとなりました。



♪ 宇霊羅山と岩泉の町

①盛岡(10:00集合)＝岩泉＝宇霊羅山登山口…△宇霊羅山(往復約2時間50分)＝平庭高原【平庭山荘泊】②＝遠島山荘…△遠島山(往復約2

時間)＝平庭高原駐車場…富士見平(往復①1時間)＝平庭高原【平庭山荘泊】③＝△安家森(往復②約2時間40分)＝早坂高原(シナノ木巨木、アヤメ群落散歩)＝盛岡駅(17:50 発)

▼平野ガイドのみ知る、案内できる大自然貸切りの原生林ウォーク▼

■十二神森～十二神山、兜明神岳と霞露ヶ岳 3日間

三陸の山旅その2…三陸に残されたブナ原生林、新緑の季節に

●9月23日(月) 発 ★健脚度:2～3*

●現地参加料金:¥62,000(盛岡駅集合、新花巻駅解散)

⇒東北のブナ森の中でも、最も原生状態が保たれた十二神の森。今では訪れる人稀な原始の森は知る人ぞ知る大自然の桃源郷です。今回は宮古から1日たっぷり時間をかけて森の入口から十二神山まで、さらにブナ原生林の素晴らしい自然道をじっくりと歩き、静寂に包まれた巨木の森で大自然の気を存分に吸収して、悠久のひと時を過ごします。かつては自然観察の遊歩道が整備され、道標は詳しい絵地図が要所に設置され、誰でもいろいろなコースを歩きました。しかし2016年8月の台風以来、コースは荒れ果て、殆どの道標がなくなり、一般の人ではルートファインディングが困難な難コースとなってしまいました。そのためこの十二神の森は、以前よりも遥かに原始の自然が保たれ、歩くルートさえ分かれば、理想的な原生林ウォークを殆ど貸切り状態で歩けるまさに大自然の神域、桃源郷となっているのです。平野ガイドはかつて絵地図に記された複雑なコースの記憶と記録を頼りに、何度もこの地に足を運び、あらゆるコースを歩き、迷い、今ではまるで自分の庭のように歩けるようになりました。自分では決して歩けないこの貴重な神域を、平野ガイドは参加者のレベルによ



って健脚度2～3*まで最良のコースを大自然貸切りでご案内します。三陸山田町から太平洋岸に突き出した船越半島の霞露ヶ岳は、内陸の登山口から海へと下る最も楽で効率的なコースで歩きます。北上高地北部の名峰・兜明神岳・岩神山は、区界高原から往復。

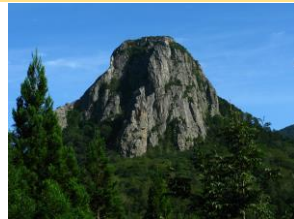
①盛岡(10:00 集合)＝区界峠＝△兜明神岳(往復②約2時間)＝宮古【休暇村陸中宮古2連泊】②＝山田町＝十二神巨木の森…△十二神山(周遊③約3～5時間)＝休暇村陸中宮古【泊】③＝霞露ヶ岳神社登山口…△霞露ヶ岳…瀧磯海岸駐車場(④約3時間)＝遠野・道の駅風の丘＝新花巻(16:00 頃着)

■津軽・下北半島大周遊の山旅・復活の大尽山 3日間

大尽山と縫道石山、津軽鋸岳、十三湖・亀ヶ岡縄文遺跡 ★健脚度3

●9月29日(日) 発 3日間 ●現地参加料金:¥67,000(新青森駅集合・解散)

⇒本州最北端の津軽・下北半島。交通不便なこの地域を、平野流コース巡りと小回りのきく四駆のワゴン車で効率よく穴場を周遊します。恐山の御神体・大尽山が久しぶりに復活、津軽海峡を見下ろす奇峰・縫道石山、津軽のヒバの山・鋸岳など、下北の秘湯・薬研温泉、津軽・不老心死温泉をペー



津軽の奇峰・縫道石山

スに歩きます。①七戸十和田(9:34 着)＝大湊＝角違大川目林道登山口…一休地蔵…△大尽山(往復②約2時間50分)＝恐山＝薬研温泉【ホテルニュー薬研泊】②＝大間崎＝縫道石山登山口(往復③3時間50分)＝脇野沢[しもきたフェリー1時間]蟹田＝平館【平館不老心死温泉泊】③＝増泊林道…△鋸岳(往復④約2時間)＝亀ヶ岡＝十三湖・亀ヶ岡縄文遺跡＝新青森

◆10月の山旅・お勧めコース・世界一美しい日本の紅葉、錦織り成す東北のブナ原生林で悠久のひと時を◆

新緑の美しい日本のブナ原生林は、オオカメノキやカエデ、コシアブラなど様々な種類の樹木が混じり、秋の季節には錦絵の紅葉の世界が広がります。このような変化に富んだ紅葉は、地球上で他の地域では決して見ることのできない日本ならではの素晴らしいと見えるでしょう。日本に住む我々はこの日本の紅葉の素晴らしさを再認識して、世界一美しいブナ原生林の紅葉を堪能したいものです。平野ガイドがベストコースをご案内します。

▼10月の山旅・平野ガイド一押しコース：真屋ブナ悠々の森▼

東北ブナ森の中で平野ガイドが一番お気に入りのスポット。これまで和賀・真屋山を歩いたことのある人にもお勧めの新コースです。

■真屋山地・真屋ブナ原生林悠々の森と大空の滝 ゆったり山旅

真屋岳山麓のブナ指標林・手つかずの森で悠久のひと時、錦秋の候に

①10月15日(火) ②10月18日(金) 発2日間 ★健脚度:2-2+

●現地参加料金:¥43,000(新花巻駅集合・解散)

真屋岳中腹には周辺随一のブナ原生林が広がっています。真屋岳頂上まで無理して行かず、途中のブナ巨木の森で憩い、ブナ指標林中の、手つかずのブナ原生林の中、平野ガイドが見つけた原生林ルートを周回します。今では訪れる人も殆どいない静寂の原生林の中でゆったりとくつろぎます。翌日は原生林ドライブ[なめとこライン]大空の滝入口から、ゆったりとした旧林道(車通行止め)の遊歩道を大空の滝展望地へ。錦秋のブナ林を眺めながらランチタイムの後、往路を登山口へ。*奥のブナ原生林まで往復(約1時間)も可能。

①新花巻駅(10:00 頃集合)＝なめとこライン＝大空の滝駐車場…大空の滝展望地…ブナ原生林(往復②約3時間～3時間30分)＝南花巻温泉【ホテル志戸平泊】②＝沢内村＝真屋岳兔平登山口…真屋ブナ悠々の森…大ブナ広場＝ブナ原生林内周遊…登山口(③計約2時間30分)＝東和温泉(入浴休憩各自)＝新花巻駅(17:00 頃着)

⇒①山の会グループで貸切り実施予定 ②2名から実施可能

■真屋山地・真屋ブナ悠々の森～兎平、女神山

真屋岳山麓のブナ指標林・手つかずの森を平野ルートで

10月18日(金) 発2日間 ★健脚度:2-3

●現地参加料金:¥43,000(盛岡駅集合・解散)

⇒大空の滝ゆったりコースよりも歩きごたえのある女神山のブナ森を周遊、真屋ブナ悠々の森はさらに兎平のピークまで往復します。

①新花巻駅(9:49 着)＝相沢林道終点女神山登山口…白糸の滝…△女神山…県境尾根…ブナ見平…降る滝…登山口(周遊②約3時間20分)＝南花巻温泉【ホテル志戸平泊】沢内村＝真屋岳兔平登山口…△兎平ピーク…真屋ブナ悠々の森…大ブナ広場＝ブナ原生林内周遊…登山口(③計約3時間30分)＝新花巻駅(17:00 頃着)

⇒2名から実施、グループ貸切り、コース調整も可能です。

▼裏磐梯で一番ブナ森がしい2か所のブナ森をゆったりプランで歩く▼

■秋の裏磐梯・雄国山と雄子沢&デコ平ブナ原生林

裏磐梯五色沼周辺の原生林と渓谷・紅葉の山旅 ★健脚度:2-3

●10月20日(日) 発 2日間 ●現地参加料金:¥42,000(会津若松駅集合・解散)

⇒秋の裏磐梯の沼と渓谷、ブナ原生林を巡る秋の山旅。裏磐梯で一番のブナ原生林・デコ平と雄子沢のブナ林を紅葉の時期に訪れます。

①会津若松＝裏磐梯五色沼＝デコ平駐車場…百貫清水…ブナ林巨木広場…布滝(往復②約3時間)＝秋元湖。中津川渓谷＝裏磐梯【アクティブリゾート裏磐梯泊】②＝雄子沢登山口…ブナ原生林…△雄国山…雄国沼休憩舎…(雄国沼往復30分)…雄子沢登山口(③約3時間30分)＝会津若松駅

▼ブナの名山を平野流コース巡りでベストスポットをゆったりと周遊▼

■鍋倉山・巨木の谷[森太郎]と天水山ブナの森

信越トレイルのブナ林ベストスポットを巡る、紅葉の山旅スペシャル

●10月23日(水) 発 2日間 ★健脚度:3

●現地参加料金:①¥42,000 ②③¥62,000(越後湯沢駅集合、飯山駅解散)

⇒最近話題の信越トレイル。全行程80kmを歩き通すためには5～6日ばかり大変なので、その中でブナ林が最も素晴らしい部分をゆったりとした行程で歩きます。鍋倉山ではブナ巨木・森太郎や巨木の谷を周遊、素晴らしいブナ森をじっくりと探訪します。信越トレイルのもう一つのブナスポット・天水山も松之山からベストコースで往復します

①飯山駅(＝鍋倉山登山口…巨木の谷…△鍋倉山…△黒倉山…茶屋池(②約3時間30分)＝戸狩温泉【泊】③＝天水山松之山登山口…ブナ林…△天水山(往復④約3時間)＝越後湯沢(17:00 頃着)

*健脚度2のゆったりコースも可能です。

▼車道歩きを最小限に抑えた新しいコース巡りで山とブナ森周遊▼

■玉原高原ブナ林・鹿又山とニガ秀山、玉原温泉周遊

関東で一番近いブナ林、紅葉の山旅、高原の宿水芭蕉

●10月25日(金) 2日間 ★健脚度：2～3 *日程は6月の山旅参照

●現地参加料金：¥39,000 (上越新幹線上毛高原駅集合・解散)

⇒首都圏から一番近いブナ林・玉原高原を、高原の宿に1泊してゆとりを持って歩きます。玉原温泉を取り巻く2つの山とブナ林の見どころを、2日間に分けてじっくりと歩きます。車道歩きやスキー場コースを極力避けて、自然道を歩けるコース巡りを考えました。

①上毛高原駅(8:54着)＝玉原高原センターハウス…玉原温泉入口…△ニガ秀山…長沢三角点…ブナ平…センターハウス(周遊約3時間30分)＝高原の宿水芭蕉【泊】②＝鹿又山南登山口…△鹿又山…ブナ平…センターハウス(周遊約4時間)＝上毛高原駅(18:25発)

▼人気の鈴鹿山脈の中で人知れぬ自然ルートを歩く新コース▼

■御在所岳・武平峠コースと三人山新周遊コース、

三人山からクラ谷へ自然林周遊、紅葉の御在所岳、最短新コース

①10月28日、(月)②10月30日(水) 2日間 ★健脚度：2～3

●現地参加料金：¥42,000 (桑名駅集合・解散)

⇒従来の御在所岳・中道登山道からの登りは標高差650mの急登や鎖場ありのややきついコースでした。数多くの登山コースの中で最も楽で変化に富んだ武平峠からのコースに変更しました。鈴鹿の山の中で最も自然林が美しい三人山を巡る新コース。乗り換え不便な湯の山温泉駅(近鉄湯の山線)を止めて、桑名駅(JR)集合・解散としました。

①桑名駅(9:27着)＝菟野IC＝鈴鹿スカイライン＝武平峠駐車場…鎌ガ岳分岐…長池…△御在所岳…△南峰…表登山道(周遊約3時間)＝湯の山温泉【ホテル鹿の湯泊】②武平峠下雨乞岳登山口…いっぶく峠…△三人山…南の科尔…クラ谷…コクイ谷分岐…沢谷乗越…いっぶく峠…登山口(周遊約3時間)＝菟野IC＝桑名IC＝桑名駅(17:45発)

*もっと楽をしたい場合は、御在所岳頂上から登山リフト+ロープウェイで下山も可能です。ホテルまで徒歩5分。

▼東北ブナの山旅定番コース4本、日本最大級のブナ原生林満喫▼

■栗駒山(秣岳)と栗駒古道・千年クロベ、御駒山

秋の栗駒山と役の行者ゆかりの古道を歩く、日本一のクロベ巨樹 ★健脚度：3

●10月3日(木) 3日間 ●¥62,000 (一関駅集合、解散)

⇒栗駒山周辺唯一のブナ原生林の中を辿る修験の山道・栗駒古道。その奥にひっそりとたたずむ日本最大級のクロベの巨樹(幹周9.5m)を探訪。秋の山旅では、栗駒山の天馬尾根末端部・秣岳から紅葉の美しい上部温泉まで往復します。*日程は7月の便り参照(以下3コースも)

■森吉山とノロ川ブナ原生林、幸兵衛の滝&安の滝

秋の森吉山と錦秋のノロ川ブナ原生林、マタギの里から2つの滝巡り

●10月6日(日) 3日間 ★健脚度：2～2+

●現地参加料金：¥65,000 (田沢湖集合・盛岡解散)

⇒当温泉マタギの湯に2連泊、錦の紅葉の中、日本で最高級のブナ原生林・ノロ川ブナ原生林の真只中をベストコースで歩きます。森吉山は Gondola 利用、一番楽なコースで頂上へ、ブナ樹海の紅葉を上から眺め、ブナ帯登山道を下ります。マタギの里奥・紅葉が始まる立又溪谷の<幸兵衛の滝>と中ノ又溪谷の<安の滝>も訪れます。

■秋の白神山地と十二湖、岩木山黒森・巨木の森遺遊

高倉森と十二湖、クロクマの滝、岩木山唯一のブナ原生林・黒森新ルート

●6月9日(水) 3日間 ★健脚度：2～3

●現地参加料金：¥65,000 (新青森駅集合・解散)

⇒世界自然遺産・白神山地(青森)のブナ原生林の見どころをゆとりのあるコースで巡るゆったり山歩き。四駆のノア号で白神山地の奥深くまで林道を走り、効率的に自然道を歩きます。岩木山周辺で最も原生が保たれた黒森を岩木スカイライン・巨木の森から、平野ルートで周遊、相馬村の自然に囲まれた“星の宿・ロマンピア相馬”に泊まります。

■秋の南八甲田・紅葉の赤沼と雛岳、奥入瀬～十和田湖を巡る

八甲田唯一のブナ原生林を巡るゆったり山旅 ★健脚度：2～3

●10月12日(日) 3日間 ●現地参加料金：¥65,000 (新青森集合・盛岡解散)

⇒紅葉の赤沼・巨木の森を平野流新ルートで周遊、猿倉温泉と大湯温泉に泊まり、薦の森、奥入瀬ブナ巨木・森の神、十和田湖・御鼻部山や樹海ラインなどの紅葉ドライブも含めた秋の八甲田ゆったり山旅スペシャルです。

■秋の能登半島、宝達山と鉢伏山、石動山

能登半島の山々と自然林、パワースポットを巡る秋の山旅スペシャル

●11月1日(水) 2日間 ★健脚度：2～3

●現地参加料金：¥39,000 (北陸新幹線金沢駅集合、解散)

⇒能登半島最高峰・宝達山、能登唯一のブナ原生林・鉢伏山、修験の山・石動山神聖の森など、能登半島の山々を巡る秋の能登半島周遊の山旅。和倉温泉[のと楽]に泊まり、小回りの利くノア号で能登の林道、周遊道路を軽快にドライブ、効率的に各地を巡ります。

■秋の金華山・神聖の森と牡鹿半島の自然公園を巡る 2日間

三陸の山旅その3・神の宿る島、手つかずの神域を歩く

①11月4日(月) 2日間 ●11月6日(水) 2日間 ★健脚度：2～3

●現地参加料金：¥45,000 (石巻駅集合・解散)

▼11月の山旅新コース・平野ガイドオリジナルの周遊コースで▼

1伊豆の山旅その3・秋の天城猿山と函南原生林

天城唯一のブナ原生林、小僧山から猿山・兄弟ブナ広場に憩う

●11月8日(金) 2日間 ★健脚度：3～3+

●現地参加料金：¥31,000 (三島駅集合・解散)

▼毎年一度は歩きたい奥多摩一番の自然林&自然道、晩秋の季節に▼

■秋の大マテイ山と雁ヶ腹摺山 2日間 晩秋の季節に

①11月13日(水) ②11月15日(金) 2日間 ★健脚度：2-3 *日程は6月の山旅参照

●現地参加料金：¥28,000 (上野原駅集合・解散、又は大月駅解散)

2久慈男体山と袋田の滝、月居山～鍋転山、袋田温泉

①11月20日(水) ②11月22日(金) 2日間 ★健脚度 2～3

●現地参加料金：¥35,000 (水戸駅集合・解散)

⇒栃木の名山・久慈男体山を晩秋の時期に訪れます。一般コースの長い林道歩きは避けて、大円地下駐車場から最短コースで頂上へ、大円地越え経由で下る無駄のない平野流周遊コースで歩きます。袋田温泉一の宿[思い出浪漫館]に泊まり、翌日、月居山から鍋転山(男体山縦走尾根第一展望台)まで、これも袋田の滝からの急階段を避けて、月居山登山口から自然道の山道で往復。

▽シーズンオフの足慣らしに日帰り

3高尾山～景信山周遊：誰も歩いたことのない面白コース

●11月25日(月)～11月28日(金)の随時、日帰り、3名から実施

●現地参加料金：¥3,000 (JR高尾駅集合・解散)

⇒日本の山旅の足慣らし、トレーニングに一番人気の高尾山は、リピーターの皆さんは既に毎年のように何度もいろいろなコースを歩いていることと思います。しかし平野ガイドは裏高尾の林道に高尾山への最短ルートの入口を発見、歩く人も殆どなく、階段もなく歩きやすい山道で、頂上まで20～30分の超穴場コースです。頂上から景信山へ縦走して頂上園地でランチタイム、下山は小下沢へ下る周遊コースを作りました。下山口から出発点までは1時間ほどの長い林道と車道歩きとなりますが、平野流車回送術?で無駄な歩きをカット、これまでにない高尾山～景信山周遊、乞うご期待。

*11月以降の山旅詳細は<8月のお便りその2>ご案内します。宿予約の都合上、予約は出来るだけ早めにお願ひします。日程やコース、レベルの変更も可能ですので、ご希望その他、平野ガイドまで何なりとご連絡下さい。皆さんからのお電話、メールお待ちしております!

2019.8.5

■コロミコ・トレック連絡先：☎/FAX: 045-481-0571

平野携帯：080-5665-9186 ✉ koromiko2@pop07.odn.ne

HP：www.koromikotrek.com 又は[コロミコ・トレック]で検索